



令和6年1月19日

# 和

青梅市立吹上中学校 学校だより No.9

学校ホームページ：<https://www.city.ome.tokyo.jp/school/fukiage-j/>

## 令和6年のスタート 穏やかな1年を願って

校長 平岡 直実

令和6年がスタートしました。元日早朝のテレビ番組では各局競って「ご来光」を中継していました。朝日が昇るのは毎日のことですが、「初日の出」に何か特別で清々しい気持ちにさせる力を感じるのには、お正月文化をもつ日本ならではのことなのでしょう。

「平穏な1年が始まったな」と思った矢先、北陸能登地方における大地震が発生し、お屠蘇気分もどこかに吹き飛んでしまいました。テレビが報じる被災地の景色を見ると過去の地震災害での被災地と重なってきます。特に私は「東日本大震災」の時、復興支援の教員派遣で宮城県に行った経験もあり、あの時に見た景色を思い出しました。大津波警報を伝えるアナウンサーの「東日本大震災を思い出してください」の言葉にもドキッとしました。

3学期の始業式では生徒に「自分ができる支援を考えていきましょう」と伝えました。東日本大震災をはじめ、大きな災害では復興にかなりの時間を要します。その都度支援の中身も変わってきます。一時の感情で動くのではなく、冷静に判断してほしいという思いからそのように伝えました。

自然災害はいつ起こるか予測できません。学校ではこれからも災害発生時の対応について生徒指導を進めるとともに、何が起こっても慌てないで対応できる力をはぐくみたいと考えています。

### 【始業式 「校長の話」より 一部抜粋】

さて皆さんは新年を迎え、新たな希望や決意を心に強く秘めていることと思います。三年生は、中学生として迎える最後の学期です。1日1日を大切に、思いきり自分を鍛えてほしいと思います。自分を磨くことが、今の三年生の皆さんがとるべき最良の道だと思います。そして自分の進路に向かって突き進んでください。一年生、二年生の皆さんは、2学期の反省の上に立ち、節度ある学校生活を送り、中学生として自分の年齢や経験に合った実力をつけて下さい。そして、進級に向けた準備に入ってほしいと思います。

今皆さんは、3学期を迎えるに当たって「目標に向けて頑張るぞ」と意気込んでいることと思います。そこで、皆さんに一つ課題を提示します。これは先生もよく言われたことですが、皆さんは「吹上中学校をさらによい学校にするために、何をしますか？」という課題です。終業式で「家族の一員としての役割」について少し触れましたが、皆さんには「吹中生という役割」があります。そこで、一人一人が吹上中学校をさらに良い学校にするために何ができるか考えてください。一つ例を挙げれば「授業を頑張る」でもいいと思います。積極的に発言したりノートをしっかり書いたり、仲間と意見交換をしたり。一人一人がそういう姿勢で真剣に授業に取り組むことが周りの人にも良い影響を及ぼし、授業全体の活性化につながります。これは「吹上中のため」になるとともに当然自分にも良い影響を与えてくれます。何かきっかけがあると、それが自分の向上につながり、良い循環を生むことはよくあることです。ぜひ「吹上中学校のために、何をしますか？」をきっかけとして、一人一人がより一層飛躍してほしいと思います。

こうして今話を聞いている皆さんの姿を見てみると、お正月でいくらか緩んだ心と体も、3学期のスタートを迎えて、全員が気持ちを切り替えることができているのではないかと感じます。今学期、皆さん一人一人が、それぞれの課題解決に向かって突き進むことを願っています。また新学期を迎えるにあたって「様々な不安」を感じている人もいられるかもしれません。その人は、家族、先生やスクールカウンセラー、様々な相談機関など、「あなたが信頼できる大人」に相談をしてください。ためらう必要はありません。すぐには解決できないかもしれませんが、気持ちを切り替えることにつながりましょう。

著作権の関係で  
画像や挿絵は掲載  
できません。